

Weekly コラム

令和5年5月2日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

神社の祭神と御神体

▷御神体に宿る見えない神

日本神道の神様は、「八百万の神」といわれるように、実に多彩です。海、山、川などの自然物から、台所や鍋、釜、大工道具などの身近なものに至るまで、すべてに神が宿ると考えられてきました。

もともと神は姿をもちません。また、それぞれの神社に祀る神(祭神)は神社に常在しているわけではありません。祭事のあるたびに、はるか彼方の常世の国から降臨し、人々に祝福をもたらしたのち、再び常世の国へ帰っていきます。このとき、神が宿るものを依代といい、神社で祀った依代を御神体とよびます。そのため、山、樹木、石や、鏡、玉、剣、絵画、御幣など、御神体は神社によって様々です。

御神体は偶像とは異なります。偶像は神仏を拝むためにかたどられた像ですが、神道で拝むのは、御神体に宿る見えない神です。

御神体は神聖視され、神社の神宝とされているものも少なくありません。本殿の奥に祀られ、一般参拝者はもちろん、基本的に神職も目には見ることができません。

▷自然に宿る神様を祀る

日本は周囲を海に囲まれた島国で、国土の70%以上が山地からなります。豊かな自然の中で、我々の祖先は魚介をとり、獣を狩り、木の実を採集し、やがて農耕民族として生活してきました。

自然は、我々に恵みを与える一方で、ときとして災厄をもたらします。そのため、古来日本人は、太陽、月、星といった天体、山や海、川、大木、岩などの自然物、雷や台風などの気象現象を恐れ、敬った。偉大な自然の恩恵に感謝しながらも、そこに宿る、人知を超えた存在を感じ取り、神として崇拝したのです。これを自然神といいます。

こうした自然神を祀る神社は、決して少なくありません。北極星を「妙見さん」と崇める千葉神社(千葉県)、月を主祭神とする月読宮・月夜見宮(三重県)、雷は雷電神社(群馬県)、風は龍田神社(奈良県)、樹木は公智神社(兵庫県)、海は志賀海神社(福岡県)、川は丹生川上神社(中社)(奈良県)など様々です。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX 不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。